

高等学派

【埼玉県】

高校生ボランティア・アワード2024

西大宮子ども食堂 in SAKAE

埼玉栄高校内で子ども食堂を自分たちで立ち上げて活動しています。 きっかけは小さなころに1人で食事をしていた時の寂しさを思い出し、 孤食と呼ばれる社会問題について取り組もうと決めたことです。 そこで埼玉県、さいたま市それぞれの子ども食堂ネットワークのサポートを受け、2022年の12月に1回目の子ども食堂を開催することができました! 現在では2ヶ月に1度子ども食堂を行い、春夏秋冬に合わせて地域交流のイベントを行っています。その結果、新しい子ども食堂として注目され、埼玉新聞の社会面やテレビ埼玉で活動の様子が紹介されました。





~特徵~

- 地域の子どもが自由に遊べる居場所を創出する
- ■遊びを通じて親子がコミュニケーションをとれる 機会を提供する

学生主体の街づくり

「地域で働く人たち」「地域に通う学生」「地域に住む人たち」の結束が 希薄であるという地域課題解決のためにイベントを行いました。 以下の二つは昨年行った地域交流イベントです。

西大宮ハロウィンウォーク

学校周辺のお店を回りながらお菓子をもらうイベントです。 学校周辺の企業の方々に企画説明をし参加してもらうことで、企業の方

西大宮区役所を含む18の企業 約300名のご家族

スプリングフェスin SAKAE

春に行われた子ども食堂兼地域交流イベントです。

と西大宮に住む人たちの橋渡しをすることができました。

通常の子ども食堂とは異なり、他の部活や部員以外の生徒にも 参加してもらい開催しました。

部員以外の学生に子ども達と遊んでもらうことで子ども食堂という 存在を広められると同時に地域に開かれた学校として西大宮地 域に愛着を持ってもらうことができました。

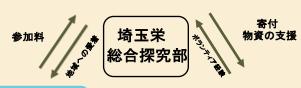
4つの部活 50人の校内ボランティア 約300人のご家族





継続的社会貢献の仕組みづくり

地域交流イベント



地域の 参加者

社会貢献活動

- •能登半島支援
- •地域猫活動 等

イベントでの売り上げを

寄付 or 物資へ



継続的な社会貢献が可能

街づくりと防災教育

~能登町での炊き出し~

さいたま市子ども食堂と合同で能登の炊き出しボランティアをしてきました。実際に避難所を見学したり、全壊した家を見た事で被災地の状況を身をもって感じました。今回感じた事を子ども食堂を通じて子ども達に伝えていきます。

~ 防災に強いまちづくり~

今後地域交流と並行して防災教育を行うことを計画しています。具体的には避難所を再現したり、応急手当ての方法などを1から学び、子ども達に教えたいと考えています。地域に根付いている子ども食堂だからこそ防災教育を通じで西大宮を災害に強い街にしていきたいと思います。









埼玉栄高校総合探究部

普段は、プレゼンコンテストへの挑戦やディベートなどを行いながらアイディアや意見を発信する練習をしています。「社会とつながる・貢献する」をモットーに活動しています。

群しい様子はHPを見てね!→

